

球色と球肥大性に優れる晩生の寒玉品種

(カネコ交配)

キャベツ

冬そだち

Cabbage, Fuyusodachi Hybrid

アントシアニンの
発生が少ない
寒玉品種。



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

球色と球肥大に優れる晩生の寒玉品種

(カネコ交配)
キャベツ

冬そだち

Cabbage, Fuyusodachi Hybrid

●特性●

- 播種期の目安は、中間地で7月下旬～8月上旬播種、暖地では8月中旬～下旬です。暖地の3月収穫を中心に、中間地・暖地の2～4月収穫に向きます。
- 球はブルームのある濃緑色の扁円形で、球尻まで緑色となります。アントシアニンの発生も少なく、気温の上昇と共に、球色がさらに濃くなります。
- 草姿は立性で、旺盛な生育をします。球を包み込むように葉が茂り、寒さから球を守ります。
寒さには比較的強い品種ですが、強い霜が降る、または、球が凍るような地域では、凍害が発生する場合がありますので注意が必要です。耐寒性に優れる「ひなの」、肥大性に優れる「冬そだち」と使い分けがおすすめです。
- 球は扁円形で、球しまりが良いので、1球重が重くなりやすいです。球色も濃く、陳列時の見た目に優れます。また、葉肉が厚く、しっかりしているのでカット野菜や千切り等の加工適正にも優れます。
- 芯が伸びにくく、結球後の在圃性に優れます。また、萎黄病にAタイプの抵抗性で、黒腐病に耐病性があります。環境によっては、菌核病が発生する場合がありますので、予防防除が必要になります。

●栽培要点●

- 播種・育苗
播種期・定植期をきちんと守ります。播種・定植が遅れると生育が遅れ、小玉や結球が緩くなる場合があります。

播種期が高温となります。発芽揃いを良くするために、発芽するまでは遮光資材等を利用して、直射日光を防ぎ、温度を下げ、乾燥を防ぐ工夫をします。本葉が展開してからは苗床の風通しを良くして、しっかりした苗を育てるようにします。

- 肥培管理
肥沃地～やや肥沃地の栽培に適します。畑の状態に応じて加減しますが、目安として10aあたり窒素23～28kg、リン酸25～30kg、カリ23～28kgを基準に栽培します。追肥型の栽培を行い、元肥に半量、残りを追肥とします。
栽培途中で肥効がなくなると、本来の肥大性・耐寒性が発揮できなくなるので注意します。なお、「ベストマッチ葉菜用268」等の緩効性肥料を用いると、生育が安定し、肥料切れなどの心配が軽減できます。
- 栽植密度
旺盛な生育を示すため、密植栽培は避けます。
栽植密度は畝間60cm、株間35～40cmとします。
- 防除
黒腐病、菌核病の対策は予防防除が重要です。
黒腐病は、台風や大雨の後には出来るだけ速やかに防除を行って下さい。菌核病は11～12月の降雨に伴い、菌糸が生長するため、この時期の防除が重要です。
- 栽培中の管理～収穫
中耕時にしっかりと株元まで土を寄せることで収穫時の倒伏を軽減できます。また追肥の効果もしっかりと発揮できるので生育が安定します。
抽苔が遅く在圃性に優れる品種ですが、花芽の様子を確認しながら収穫遅れに注意します。

●栽培作型●

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
中間地 (※北関東除く)	○	×							■	■	
暖地		○	×						■	■	

○ 播種期 × 定植期 — 生育期 ■ 収穫期

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
会員番号 10001号

取扱店